

会議結果 (会議の様子は、県議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけます。)

4月

28日
政策総務常任委員会
 所管事項の調査



5月

17日
政策総務常任委員会・分科会
 議案の審査

予算決算常任委員会
 議案の審査

本会議
 議案2件上程・可決、副議長選挙、各常任・特別・議会運営委員会の委員選任、

特別委員会の廃止・設置、
 四日市港管理組合議会議員選挙、
 人事同意議案1件上程・同意

各委員会
 各常任委員会、各特別委員会、議会運営委員会の正副委員長互選

25～27日
各常任委員会
 所管事項概要の調査、年間活動計画の作成

**議会改革諮問会議
 第一次答申**

県議会の議会改革の取り組みを検証するため設けられた議会改革諮問会議(学識者など5名で構成)は、5月14日、議長に対し第一次答申(中間報告)を行いました。

同会議では、これまでに県民やNPO・大学関係者、市町議会、県職員、県議会議員自身などを対象に幅広く意識調査を行い、計4回の会議を開催してきました。

答申では、県民の県議会に対する関心が低く、県議会議員の自己評価と県民意識との間に相違があったことを受け、県民と直接意見交換できる機会を設けるなど、より開かれた議会運営の実現を求めています。特に、現在、学校のみを対象に実施している「みえ県議会出前講座」の対象をNPOや各種団体などにも広げていくことを求めている。広聴広報の取り組みから多様な主体との協働による政策立案にもつなげていくことが重要であるとしています。

また、市町議会からの意向が高い県議会と市町議会との交流・連携については、県民ニーズが

把握できる機会につながる可能性があり、市町と県とが対等に協議できる仕組みも必要とのことから、試行的に取り組み、さらに検証していくべきであるとしています。

このほか、広域自治体議会の在り方や二元代表制の役割について、改めて検討していく必要があるとし、県民の福祉の向上につながる議会改革の取り組みが重要であるとしています。



議員研修会の様子

なお、答申後は、諮問会議の江藤俊昭会長(山梨学院大学教授)を講師に、同答申を基にした議員研修会を開催し、県議会議員との意見交換も実施しました。今後、同会議では、第一次答

申で整理した主要課題についてさらに検討を進め、12月頃までに最終答申がまとめられる予定です。

**県議会議員の政務調査費
 および資産等の公開**

「平成21年度政務調査費収支報告書」および「平成21年資産等の公開に関する報告書」の公開は次のとおりです。

- 開始日
 - 政務調査費 6月30日(水)
 - 資産公開 6月30日(水)
- 時間
 - 午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日、祝祭日、年末年始の休日を除く。)
- 場所 三重県議会図書室
- 問い合わせ先
 - 三重県議会事務局総務課
 - ☎059・224・2871

問い合わせ窓口

- 〒514-8570 津市広明町13
- 三重県議会事務局企画法務課
- ☎059・224・2877
- ☎059・229・1931
- ✉gikaik@prefmie.jp
- 三重県議会ホームページのアドレス
- http://www.prefmie.jp/KENGIKAI/

今回の発行は平成22年(2010年)7月20日です。